

令和 6 年度事業計画書 <白楽荘みくに湊・短期入所生活介護>

テーマ：ICT 導入による職員育成と働きやすい職場作りをめざした効果的な利用者支援

サブテーマ：科学的介護（LIFE）活用により、自立支援・重度化防止を重視した質の高いサービスの推進

1. 入所者の安全と自立支援を目指したサービスの提供をおこなう(入所)

- ①見守りセンサーを導入することで、リスクを回避した利用者への迅速な対応、異常時の早期発見に努める。
- ②入所者、家族の訴えを傾聴し、思いに寄り添い、居心地が良く、快適なサービスを受けられるように信頼関係を築いていく。
- ③LIFE を活用し、個々に応じたサービスの提供をおこなう。
- ④「虐待芽摘みチェック表」を自己・他者評価おこなうことで、ケアの振り返り、接遇面や質の向上に努める。
- ⑤防災訓練を年 2 回以上実施し、地域と連携しながら、緊急時に対応できるよう日頃から防災意識を高めていく。

2. 安心して在宅生活が継続できるよう支えていく(短期)

- ①他職種・他事業所と連携を密にし、情報を共有することで、希望に沿ったサービスの提供をする。
- ②在宅生活が継続できるよう、本人が出来る事の機能を維持し、自立支援を目指す。
- ③利用者の健康状態を把握し、職員間での気づきを共有することで、リスクを軽減し、アクシデントを未然に防ぐ。

3. 魅力ある職場を作り、働きやすい環境を作る

- ①ICT 導入を活用することで、ご利用者のリアルタイム状態を「見える化」で、ラウンド業務の負担軽減、看取り期・急返事に迅速且つ適切な対応が実現できる環境の整備、各種他機器との連携強化でデータの一元共有、効率化を図る。安心・安全に見守れる職場の環境作りをおこなう。また、ICT 委員会を毎月開催し、勉強会を行うことで職員の意識を向上していく。
- ②職員面談をおこない、日々の思いや目標を確認し、フィードバックすることで、働きやすい環境をつくる。また希望に沿った有休休暇取得を調整し、リフレッシュできるよう配慮する。